

令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	地理歴史	科目	地理B	単位数	2	学年	2年	類型	カレッジコース
教科書	地理B 東京書籍			副教材	なし				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点				学習のねらい・学習の目標・評価の観点							
				①	②	③	④								
1 学期	4	第1編 さまざまな地図と地理的技能	第1章 地理情報の表現方法	1 地球としての地球（地球でとらえる地球）	◎		○		<p>学習のねらい</p> <p>一学期は現代世界のさまざまな地理的事象を理解し、考察するために必要な地理的技能を、さまざまな地図の読図や作図などの作乐的、体験的な学習を通して学習します。</p> <p>二学期は、自然環境、資源と産業、人口や都市・村落、生活文化や民族・宗教など、テーマごとに地理的事象を取り上げ、分布や空間的な広がりに関する考察を通して、地球的な視野から地理的事象を学習します。</p> <p>三学期は、第1編で学習した地理的技能と第2編で学習した系統地理的な知識や概念を活用して、世界の諸地域の特色や課題をとらえるために、歴史的背景を踏まえながら多面的・多角的に学習します。</p> <p>学習の目標</p> <p>現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し、現代世界の地理的認識を養います。</p> <p>現代世界の諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養います。</p> <p>地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養います。</p> <p>評価の観点</p> <p>① 関心・意欲・態度</p> <p>地理的事象、ないしは現代世界の諸地域や諸課題に興味・関心を抱き、それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ、結びつけることができるか。</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <p>地図化する過程を通じて地理的事象をさまざまな角度から分析・考察・解釈し、地理的概念や規則性（地理の見方・考え方）を見いだすことができるか。</p> <p>③ 資料活用の技能・表現</p> <p>地理学習に必要なとされるさまざまな資料を収集し、それらを的確に取捨選択し、調査・分析することができるか。</p> <p>④ 知識・理解</p> <p>地理的事象や現代世界の諸地域の特色、諸地域で起こっている諸課題についてさまざまな角度から理解を深めることができるか。</p> <p>備考</p>						
				2 地球としての地球（時差のしくみと求め方）				○		◎					
				2 地理情報と地図						◎	○				
				3 地理情報を地図化する						◎	○				
	5	第2編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	1 世界の地形（地形をつくる力、安定大陸と変動帯）			○	◎							
				1 世界の地形（安定大陸の地形）			○	◎							
				1 世界の地形（変動帯にみられる小地形）		○		◎							
				1 世界の地形（海岸と海にみられる小地形）		○		◎							
	6			1 世界の地形（気候の影響が強い地形とカルスト地形）		○		◎							
				自然災害Ⅰ 地震と津波		◎	○								
				2 世界の気候（気候と大気の大循環）		○		◎							
				期末考査	○	○	○	◎							
7			2 世界の気候（世界の植生・土壌）			○	◎								
			"			○	◎								
			"			○	◎								
			"			○	◎								
2 学期	8							<p>② 思考・判断・表現</p> <p>地図化する過程を通じて地理的事象をさまざまな角度から分析・考察・解釈し、地理的概念や規則性（地理の見方・考え方）を見いだすことができるか。</p> <p>③ 資料活用の技能・表現</p> <p>地理学習に必要なとされるさまざまな資料を収集し、それらを的確に取捨選択し、調査・分析することができるか。</p> <p>④ 知識・理解</p> <p>地理的事象や現代世界の諸地域の特色、諸地域で起こっている諸課題についてさまざまな角度から理解を深めることができるか。</p>							
									9			2 世界の気候（熱帯の特徴と人々の生活）		○	◎
												2 世界の気候（乾燥帯の特徴と人々の生活）		○	◎
												2 世界の気候（温帯の特徴と人々の生活）		○	◎
	2 世界の気候（亜寒帯の特徴と人々の生活）		○	◎											
	10				中間考査	○	○		○	◎					
					3 日本の自然環境（日本の地形と自然災害）		○		◎						
					3 日本の自然環境（日本の気候と自然災害）		○		◎						
					"		○		◎						
	11				4 世界の環境問題（地球規模の環境問題）		◎		○						
					4 世界の環境問題（人間活動と地球規模の環境変化）		◎		○						
					"		◎		○						
期末考査					○	○	○	◎							
12				4 世界の環境問題（持続可能な社会のために）		◎	○								
				"		◎	○								
				"		◎	○								
				"		◎	○								
3 学期	1	第2章 産業と資源		1 産業の発展と産業地域			○	◎							
				2 農林水産業（農業の立地と形態）		○	◎								
				2 農林水産業（世界のさまざまな農業地域）		◎	○								
	2				2 農林水産業（グローバル化と農業地域の変容）		○	◎							
					2 農林水産業（拡大する世界の農産物流通）		○	◎							
					2 農林水産業（世界の林業と森林資源）			○	◎						
	3				学年末考査	○	○	○	◎						
					2 農林水産業（世界の水産業）		◎	○							
					2 農林水産業（日本の農林水産業）			○	◎						
				3 食糧問題		◎	○								

※評価の観点 ①：関心・意欲・態度 ②：思考・判断・表現 ③：資料活用の技能・表現 ④：知識・理解

◆学習方法のポイント

- あなたは、あなたが住む地球(世界)のことをどれだけ知っているでしょうか。
- わたしたちを取り巻く地球環境や国際情勢は日々変化を続け、わたしたちの生活圏から地球規模にいたるまで数多くの課題を抱えています。
- これらの諸課題を解決するための方法や工夫は、地理的な見方や考え方を身につけることで見いだすことができます。
- そのためには、地球上のさまざまな自然環境や生活文化、産業といった地理的事象や世界の諸地域について認識し、多面的・多角的にとらえる必要があります。
- 21世紀を迎えた今日、地球上には70億を超える人類が暮らしています。その暮らしは多様であり、全てを知ることは到底できません。でも、わたしたちとは異なる暮らしを学ぶことによって、より広い視野で地球と世界の問題を見つめることができると思います。
- 地球と世界の現状を知り、未来を語る旅に出かけましょう！

【授業】

- 週に2回の授業があります。
- 基本的に1時間に1枚プリントを配り、教科書や地図帳を用いて基本的知識を身に付けます。
→プリントをファイルもしくはノートに丁寧に保存することが大切です。
- 地理は「どこに何があるか」が基本(大前提)にある学問です。
→普段から、地図帳を見る癖をつけておきましょう。
- 地理では、データや統計資料を活用して、作業学習や調べ学習を行います。
→それを見て気付いたこと、読み取ったことなどをメモしておくことは理解への近道です。

【家庭学習】

- 地理は決して机上の空論ではありません。生きた学問です。
→普段から、テレビ・新聞記事・インターネットなどを見て、社会情勢に興味を持つことが大事です。
- 課題追究学習の際のレポートを評価のための資料とします。
→課題の設定・追究学習を行う際には、「SKILL」などを参考にしてください。

【定期考査】

- 授業で学んだことをきちんと理解できているか、理解しようと努力できているかを、みるためのテストです。
→総じて言えることですが、定期テストは「できる・できない」ではありません。「やったか・やってないか」が問われます。「よし、もう大丈夫！」と自信が持てるまで繰り返し勉強してください。やればできる。

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況及び学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③資料活用の技能・表現 ④知識・理解の四つの観点から評価します。ただし、定期考査を重視します。	
評価の規準	1学期	単元テスト、期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	2学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	3学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	学年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均